

# 札幌響くらぶ公式ホームページ

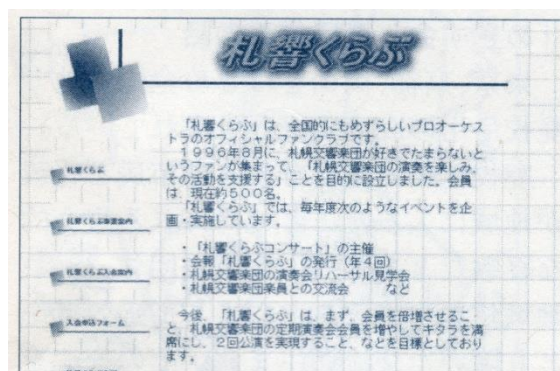
札幌響くらぶのホームページはしばらくの間、札幌交響楽団のホームページの応援団の1ページに間借りして会員募集などを載せていました。間借りしているため載せられる情報は限られており、また、更新を頻繁に必要とする内容ではなかったこともあり、更新も遅れ気味でした。

札幌響くらぶとして「札幌響くらぶコンサート」「交流会」「練習見学会」などの事業の案内や「会員募集」など発信したい情報はたくさんありますが、年4回発行している会報「札幌響くらぶ」が唯一の情報発信手段でした。常に採りたての生きのいい新鮮な情報が発信できるホームページの開設は望まれているものの、初心者でもすぐホームページが作れるとうたう専用ソフトはあるが、個人が発信するホームページと違い、団体が発信する公式のホームページには、全体構成の統一感や操作性、拡張性などある程度の専門知識も必要なホームページ制作にはなかなか踏み切れませんでした。

2003(平成16)年1月に法令関係の出版社でデータベース関連の仕事をしている武藤義典が運営スタッフに加わりホームページ開設に望みが出てきました。西川事務局長(現副会長)から要請を受けた武藤運営スタッフは、ホームページの基本設計に取り組み、同年6月に仮ページをアップさせ、9月に公式ホームページをアップさせました。

武藤運営スタッフは、曙・山鼻地域の情報発信をしている山鼻新聞の編集スタッフとして

一緒に活動していた縁で、Webシティさっぽろを運営しているNPO法人シビックメディアの杉山専務に基本設計ができた時点でホ



## 最初の札幌響くらぶホームページ

ホームページ開設に当たって助言を求め、当初はWebシティさっぽろのサーバ内での開設も検討されましたが、札幌響くらぶは民間団体であることからサーバの貸し出しは難しいのが現状であった。しかし、Webシティさっぽろでは何らかの札幌に関する情報をページ内で発信したいとの思いから札幌響くらぶ独自の解説による札幌定期演奏会の情報を「札幌情報」として札幌響くらぶのホームページとは別に開設することとなり、公式ホームページより一足先に公開され、札幌響くらぶの公式ホームページはOCNのサーバを利用して開設することとなりました。

当初のホームページは、札幌響くらぶの設立の目的、事業案内、会員募集、入会申込フォーム、会則からなる5ページの構成でした。札幌響くらぶの入会はこれまで会員の紹介か、定期演奏会会場での申し込みしかありませんでしたが、ホームページの開設でメール、FAX、入会申込フォームページからの申し込みができるようになり、開設翌年にはホームページからの入会が50名を超え、更にその翌年には100名を超えました。

2004(平成16)年10月、開設から1年が経過し全面リニューアルし、メインページ、札幌響くらぶの歩み、事業案内(コンサート・総

会・交流会・練習見学会・SPC交流会・その他)、入会案内、入会申込フォーム、会則、会報、リンク集、おしゃべりROOM(掲示板)の構成からなっていました。会報「札幌くらぶ」のバックナンバーのデータ化も同時にスタートさせ、最新号の第30号から順次遡って掲載し、12月下旬には創刊準備号までの全てのデータ化が完了しました。

ホームページのアクセスは1日10回前後、月300回くらいでしたが、シビックメディアの杉山専務によると開設間もないホームページとしてはいいほうではないかということでした。

2006(平成18)年12月、ホームページの運営管理は、事務局次長の深井雅昭に引き継がれ、サーバもOCNからJCOMに移転し、同氏の感性が活かされた現在のホームページに至っています。